

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成21年4月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・個人消費は、弱い動きとなっている。

大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を下回った。(1月)
公共工事請負金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額は前年を下回った。(2月)

産業面・・・鉱工業生産は、大幅に減少している。

鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を下回り、原指数も前年を下回った。(1月)

雇用面・・・雇用情勢は、厳しさを増している。

きまって支給する給与、所定外労働時間とも前年を下回った。(2月)
求人倍率は、新規、有効とも前月を下回った。新規求人数は前年を下回った。(2月)

需要面の動き

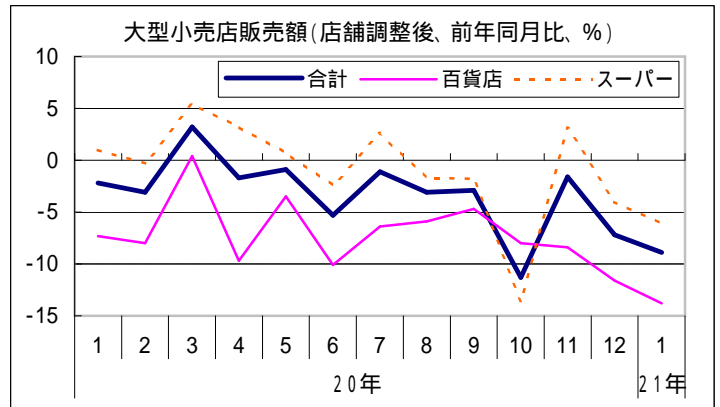
大型小売店販売額(1月)

全店舗の販売額は、58億214万円(前年同月比8.9%減)と10か月続いて前年を下回り、店舗調整後でも10か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	580,214	8.9 (8.9)
百貨店	199,010	13.8 (13.8)
スーパー	381,204	6.1 (6.1)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(1月)

29億4,683万円(前年同月比4.0%減)と4か月続いて前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(2月)

1,732台(前年同月比14.7%減)と7か月続いて前年を下回った。普通車、小型車、軽自動車とも前年を下回った。

新設住宅着工戸数(2月)

121戸(前年同月比42.1%減)と2か月続いて前年を下回った。減少の内訳では、貸家の減少(前年同月比55.6%減)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(2月)

2億4,630万円(前年同月比86.0%減)と4か月ぶりに前年を下回った。用途別では、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業用(前年同月比66.7%増)以外は前年を下回った。

公共工事請負金額(2月)

83億5,600万円(前年同月比53.1%増)と4か月ぶりに前年を上回った。発注者別の内訳では、国の増(前年同月比63.7%増)が大きな割合を占めた。

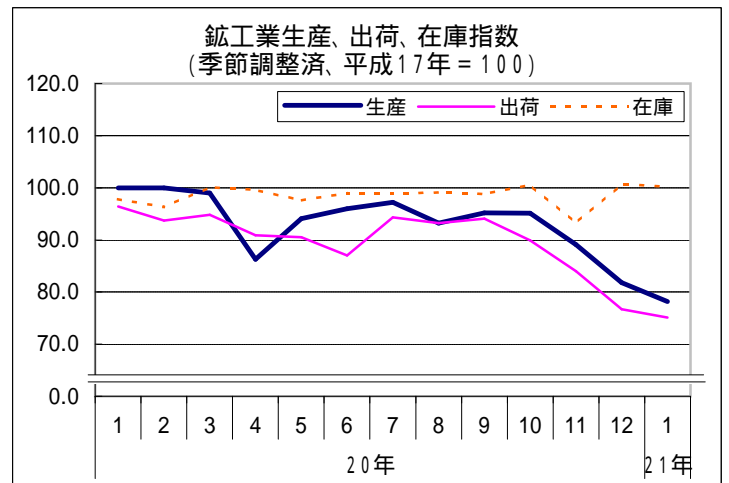
産業面の動き

鉱工業指数(1月)

生産指数(季節調整済)は78.2(前月比4.4%低下)と4か月続いて低下し、原指数も68.3(前年同月比23.6%低下)と4か月続いて低下した。

内訳を前月比でみると、食料品・たばこが3.6%低下、電子部品・デバイスが18.7%低下、電気機械が1.8%上昇、一般機械が16.7%低下した。

在庫指数(季節調整済)は100.2と前月比0.5%低下した。



大口需要電力実績(1月)

106,044千kwh(前年同月比24.1%減)と6か月続いて前年を下回り、鉱工業も全ての区分で減少し27.4%減少した。

青果物卸売量(2月、鳥取市場)

野菜が1,338t(前年同月比0.1%増)と2か月続いて前年を上回り、果実も787t(前年同月比2.3%増)と2か月続いて前年を上回った。

漁獲量(2月、境港)

7,403t(前年同月比9.2%減)と3か月ぶりに前年を下回った。

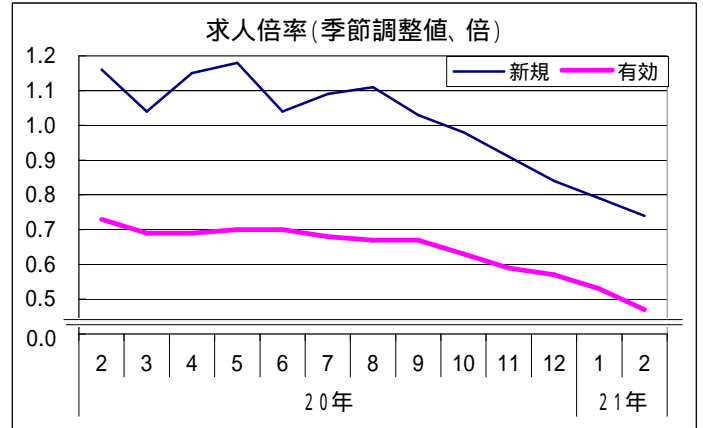
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(2月)

0.74倍(前月差0.05ポイント低下、前年同月差0.42ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、3,221人(前年同月比21.2%減)と17か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(2月)

0.47倍(前月差0.06ポイント低下、前年同月差0.26ポイント低下)と0.5倍を割っている。0.4倍台になるのは、昭和42年3月以来である。



現金給与総額(1月)

247,209円(前年同月比7.6%減)と2か月ぶりに前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、240,949円(前年同月比2.5%減)で8か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(1月)

6.9時間(前年同月比23.9%減)と6か月続いて前年を下回った。主力の製造業は44.6%減となった。産業別の前年同月比では、電気ガス水道業(前年同月比107.9%増)等で前年を上回り、複合サービス事業(前年同月比64.9%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(1月末)

預金残高は、1兆8,737億円(前年同月比0.1%増)と2か月ぶりに前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,205億円(前年同月比2.0%減)と29か月続いて前年を下回った。

参考

鳥取県景気動向指数(1月)

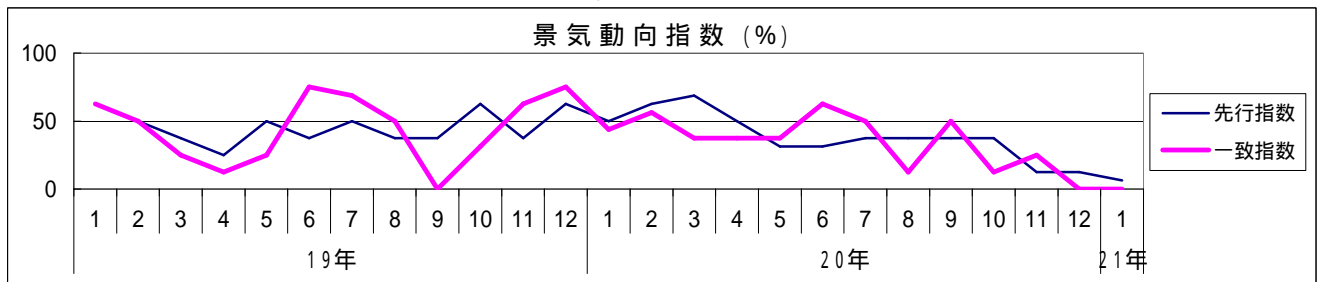
先行指数6.3%、一致指数0.0%、遅行指数10.0%となった。

先行指数は9か月続いて50%を下回った。

一致指数は4か月続いて50%を下回った。

遅行指数は5か月続いて50%を下回った。

全ての指数が4か月続いて50%を下回った。



企業倒産(2月)

件数は9件(前年同月比80.0%増)で4か月続いて前年を上回り、負債総額は14億200万円(前年同月比23.0%減)で2か月ぶりに前年を下回った。

消費者物価指数(2月、鳥取市、総合、平成17年=100)

100.2となり、前月比(0.2%下落)は6か月続いて下落し、前年同月比(0.3%上昇)は16か月続いて上昇した。

鳥取県の推計人口(3月1日現在)

593,702人で、前月と比べて356人(0.06%)減少し、前年同月と比べて4,728人(0.79%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成21年2月調査)

平成21年1~3月期は、平成20年10~12月期に比べると景気、売上高、経常利益ともきわめて不調である。

平成21年4~6月期は、平成21年1~3月期に比べると景気、売上高、経常利益ともきわめて不調となる見通しとなっている。